

「大丈夫ですか？」の声掛けに関する意識調査

衆和会 長崎腎クリニック、長崎腎病院

○白井美千代, 熊 博和, 久保純子, 丸山祐子, 橋口純一郎, 原田孝司,
船越 哲

【はじめに】

透析治療中の患者は血圧低下など高頻度に状態が変化し、その際の言葉の選び方は慎重にしなければならない。

【目的】

「大丈夫ですか？」の声掛けについて調査したので報告する。

【方法】

衆和会職員 136 名と外来維持透析患者 55 名を対象に、アンケート方式で声掛けに対する意識調査を実施、患者にはうつ病スクリーニングテスト(CES-D)も合わせて実施した。

【結果】

「大丈夫ですか？」は、スタッフからは「使ってよいと思う・使ってよい時もある」のポジティブな回答が 71%であった。患者からも「気遣ってもらい嬉しい」が 62%と、両者の乖離は少なかったが、一方で「大丈夫ではない・答えようがなく困った」などが 38%を占めた。また、CES-D で調査した患者側のうつ傾向とネガティブなとらえ方は有意な関係性が認められた。

【考察】

さまざまなストレスからの精神的な反応として抑うつが出現しやすい透析患者の心理を理解し、「大丈夫ですか？」の声掛けは慎重におこなう必要がある。